

平成 19 年 3 月 30 日
農 林 中 央 金 庫

「森林再生基金」第 2 回助成案件の決定について（お知らせ）

1. 概要

- (1) 当金庫は、創立 80 周年を機に、平成 17 年 3 月「公益信託 農林中金 80 周年森林再生基金」を設定し、森林保護（保全）を通じた社会貢献事業の取組を開始しております。
- (2) 本取組は、国内の森林が荒廃し地球温暖化防止をはじめとした多面的機能を発揮できない状況を踏まえ、特定公益信託を活用して民有林を再生する事業・活動に対し助成を行うもので、信託財産 10 億円、期間 10 年程度（1 年当たり 1 億円程度を助成）の事業を実施しています（別紙 1「事業概要」、別紙 2「スキーム図」をご参照ください）。
- (3) 今回応募のあった 36 件（うち森林組合 31 件、NPO 法人等 5 件）について、運営委員会において公益性、創造性等の観点から、厳正なる審査を行い、5 件の第 2 回助成案件を決定いたしました（助成金額合計 128,073 千円）。これらの案件の概要は 2 のとおりですが、各案件とも総じて厳しい自然条件や不在所有者などの問題を抱えるなかで、ゾーニング、集約化や機械化等の組み合わせにより、採算性と環境保全の両面を重視した森林・林業再生を目指しているところが特徴となっております。

（ご参考）

1. 昨年 2 月に、第 1 回助成事業 4 件の決定をおこないましたが、当金庫では「フォローアップ事業」として、助成先の事業実施に際し森林生態学や森林施業等の専門家を派遣して事業完成に向けたサポートを合せて実施しています。現在、これらの事業は完了に向けた取組がなされているところですが、年度明けには、事業完了の報告を受ける予定となっております。
2. また、昨年 11 月には、この第 1 回助成事業での経験も踏まえ、低コストで安定的に国産材を供給していくためには、地域特性に適合した効率的な作業システムの普及・定着が重要との認識から、J-フォレスター研修（日本版 森林管理技術者研修）を林野庁と全森連のご後援のもとに、京都府日吉町森林組合において実施したところであります。

2. 助成決定案件の内容

助成対象先	事業の概要と評価のポイント
かなやまち 金山町森林組合 (山形県) 対象地面積 160ha	事業名 「桧沢水源の森 再生整備事業－循環型社会の自律した森づくり－」 事業地は、スギ人工林および旧薪炭林で所有者延べ 140 名余の共有地。現在は共有者協議会および個人が散逸的に管理しているため、高齢化や不在村化で毀損が懸念されているが、長期施業受託契約により共有林のまま経営管理を一元的におこない、総合的な森林マネジメントのモデルとしたいとしている。 経済林・環境林に機能区分し、目的別に路網整備も行うなど施業の重点化・集約化を図り採算性の向上を図ろうとしていること、周辺市町村の 1,500ha 余りの農耕地を潤すシンボリックなダム周辺の水源林を整備することで、地域住民に森林の公益的機能を理解してもらおう契機としたいとしていることなどが評価された。
ひがししらかわむら 東白川村森林組合 (岐阜県) 対象地面積 197ha	事業名 「急傾斜地森林経営環境整備事業」 事業地は、東濃松の産地として古くから伝統をもつ林業地帯であるが、事業地は急峻で路網整備が進んでいない等から間伐の遅れが進行する育成途上の森林。 経済林と環境林に機能区分し森林管理を実施すること、既存の小型林内作業車用の 2 m 作業路を 3 m に拡幅することで高性能林業機械が使用できる範囲を極力広げ生産性を高める試みを実施すること、高密度路網と強度間伐により将来に向けた基礎作りを行いモデル林とすることで、森林所有者の意識改革を図りたいとしていることなどが評価された。
まにわ 真庭森林組合 (岡山県) 対象地面積 312ha	事業名 「低コスト施業とバイオマス活用で進める低質林改良モデル事業」 事業地は、ダム湖の半島部分で連絡・進入路もなく、30 年前のダム建設に伴い集落が滅失し、長期間手つかずの人工林および低質広葉樹林。 当組合は昨年 10 月の台風被害により森林所有者の経営意欲が後退する中、有識者等から成る「真庭の森づくり委員会」を立上げ、森林所有者 600 名へのアンケート結果を踏まえ今後の森づくりの指針を作成。高密度路網と高性能機械導入による列状間伐により生産性向上を図り、低コスト施業を実証し波及効果を期すこととしている。また、真庭市が国の「バイオマスタウン」の指定を受けており、低コスト施業により林地残材等森林バイオマスの有効活用に取り組みたいとすることなどが評価された。

みまなんぶ 美馬南部森林組合 (徳島県) 対象地面積 422ha	事業名 「『調和の森』造成事業」 事業地は、急峻な地形と岩石質な土壌という条件不利地域の人工林および皆伐後に放棄されている雑山。架線集材に代わり、環境に溶け込みやすく崩落しにくい2m幅の作業路を開設し、小型高性能林業機械を活用する作業システムを導入し、森林所有者に利益を還元できる林業経営モデルを確立したいとしていることなどが評価された。
みなみなか 南那珂森林組合 (宮崎県) 対象地面積 385ha	事業名 「再生！ 飢肥林業(森林データベースの構築による高付加価値材の生産と森林管理)」 事業地のある南九州では、再造林コストが賄えず放棄される皆伐後放棄地の広がりが懸念されている。 GPS、GIS を活用した森林境界測量や資源調査による管内森林データベースを構築する。データを活用し適地適木の機能区分を実施し、現行の短伐期施業に加え長伐期施業への誘導にも取り組むとともに、より有利な販売先の開拓・確保、安定取引の拡大、作業班の計画的な活用、伐採を行い、採算のとれる林業経営(皆伐再造林)モデルに挑戦することなどが評価された。

3. 今後のスケジュール（予定）

平成 19 年 4 月	第 2 回助成決定案件の事業スタート
平成 19 年 5 月	第 3 回助成案件の募集要項公表
平成 19 年 6 月	第 3 回助成案件の募集開始
平成 19 年 7 月	第 3 回助成案件の募集終了
平成 20 年 2 月	第 3 回助成対象先決定
平成 20 年 4 月	第 2 回助成対象先の完了事業の実査
平成 20 年 5 月	第 2 回助成対象先への助成金交付



平成 28 年 5 月	第 10 回助成決定先への助成金交付
-------------	--------------------

4. 助成決定案件の内容や次回募集についてのお問い合わせ先

全国森林組合連合会 組織部 TEL 03-3294-9719
〒101-0047 東京都千代田区内神田 1-1-12 コープビル 8F

農中信託銀行(株) 営業部 TEL 03-5281-1340
〒101-0047 東京都千代田区内神田 1-1-12 コープビル 1F

農林中央金庫 農林部 TEL 03-3243-7222
〒101-8120 東京都千代田区大手町 1-8-3 JAビル 3F

以上

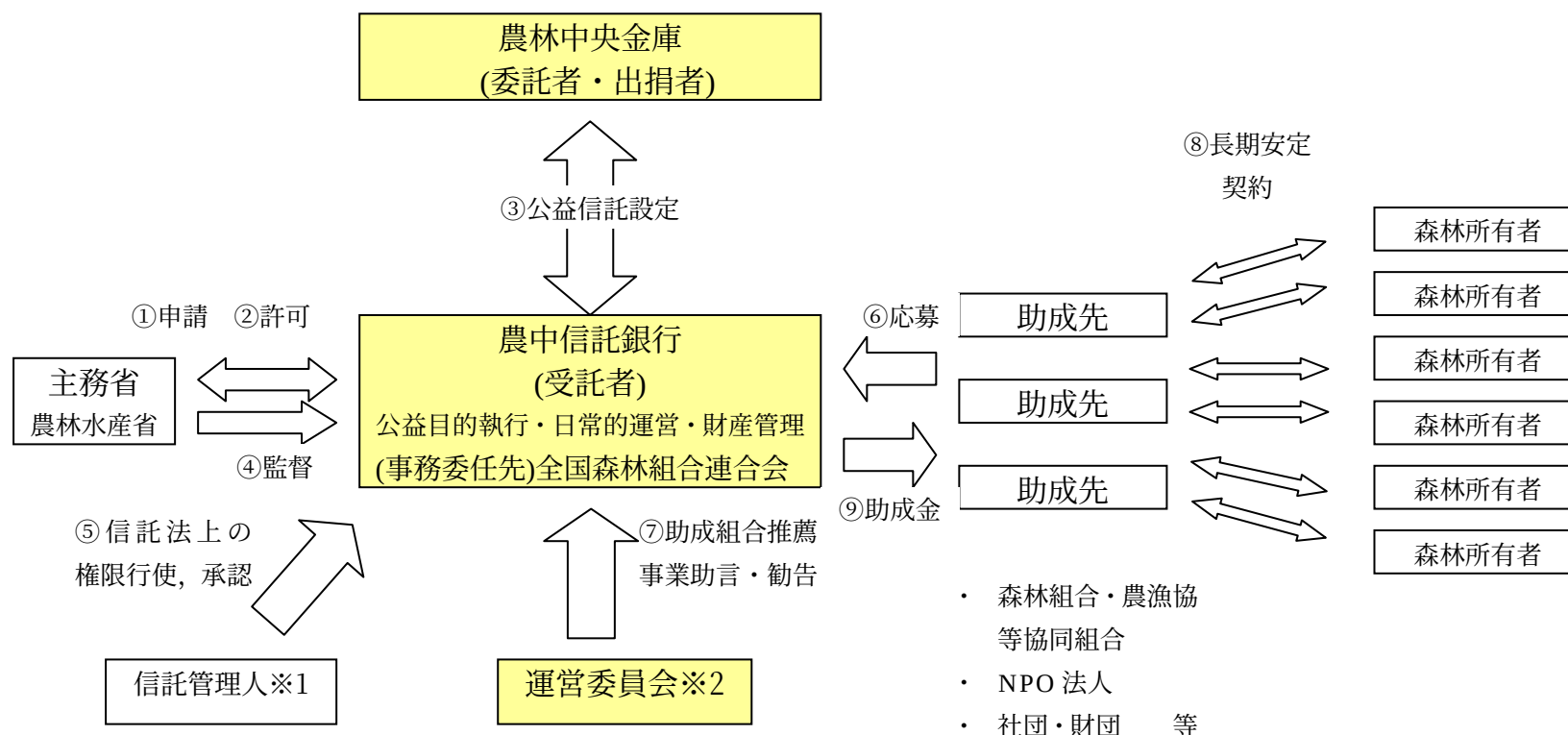
(本件プレスリリースにかかる照会先) 農林中央金庫 広報部(岩渕, 真島) TEL 03-5222-2019
--

事業概要

1. 名称 : 「公益信託農林中金 80 周年森林再生基金」
2. 区分 : 特定公益信託
3. 委託信託銀行 : 農中信託銀行株式会社
4. 目的 : 国内の荒廃した民有林の再生を通じて森林の公益性を発揮させることを目指した活動に対して助成することにより、森林の多面的機能が持続的に発揮されることを目的とする。
5. 事業内容 : 国内の荒廃した民有林の公益性を発揮させることを目的とした活動であって、創造性が高いと認められる以下の活動に対する助成金の支給。
 - ・ 複数の森林所有者との長期安定的な契約に基づく、ひとまとまりとなった荒廃林の再生活動（長伐期施業・複層林施業等の公益的な施業を条件とする。）
 - ・ 上記に附帯する林地境界確定、林地調査、不在村地主調査等
 - ・ その他目的を達成するために必要な事業
6. 助成対象者 : 営利を目的としない法人で、過去の活動歴等からみて本活動を運営するに十分な能力、知見を有する団体(ただし、地方公共団体を除く)。
7. 選考方法 : 当公益信託の運営委員会が、当信託の趣旨、目的に照らし、活動内容・活動効果の大小等を総合的に勘案して選定する。
8. 信託財産等
 - (1) 当初信託財産 : 1,000 百万円
 - (2) 信託財産取崩しにより、年間 100 百万円を目処に助成(単年度助成で一団体あたり上限金額は 30 百万円、複数年助成を希望する場合は毎年度申請し審査を経る)
 - (3) 予定信託期間は 10 年程度

以上

農林中金 80 周年森林再生基金 スキーム図



※1 不特定多数の受益者の代表として、受託銀行の職務執行を監督し、重要事項を承認する。

※2 公益目的遂行のため助成先の推薦や公益信託の事業遂行について助言・勧告を行う。学識経験者数名で構成。